



目次 -Contents-

1	講習会・講演会・その他お知らせ情報 ……2
2	建築士事務所キャンペーン 基調講演概要 ……4
3	福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告 概要 ……8 課題（高等学校の部） ……9 （専門学校の部） ……11 審査講評 ……13 受賞作品紹介 （高等学校の部） ……14 （専門学校の部） ……15
4	九州公共建築フォーラム2010のご報告 ……16
5	各支部よりお知らせ ……18
6	賛助会のコーナー ……21
7	会長の街あるき食べあるき ……24 ～福岡市城南区 鳥飼・草香江編～
8	事務局より年末年始休業のお知らせ ……24

1

講習会・講演会・その他お知らせ情報

詳細は当協会ホームページ「新着情報」をご覧ください <http://www.f-aa.jp/>

管理建築士講習

- 講習会日時……◎平成23年1月13日(木)
【受付期間】平成22年11月15日(月)～12月3日(金)
◎平成23年3月12日(土)
【受付期間】平成22年11月15日(月)～12月10日(金)
- 講習会場所……福岡建設会館 7階会議室

一級/二級/木造建築士 定期講習

- 講習会日時……平成23年2月24日(木)
- 受付期間……平成22年11月29日(月)～12月10日(金)
※受付は建築士会になります。詳細は士会(TEL:092-441-1867)までお問い合わせください。
- 講習会場所……福岡建設会館 7階会議室

既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針講習会

- 開催地……東京【TOC有明 EASTホール】
平成22年12月8日(水)～12月9日(木)
大阪【天満研修センター 9階イベントホール】
平成22年12月14日(火)～12月15日(水)
- 申込締切り……各会場開催1週間前 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

平成22年度「福岡県地域優良賃貸住宅供給事業者」及び「福岡県街なか居住推進事業」二次募集を行います

福岡県では、子育て世代、高齢者世帯または障害者世帯の居住の安定、及び街なかへの居住推進を図るため、「福岡県地域優良賃貸住宅供給事業者」「福岡県街なか居住推進事業」の二制度により建設費の補助を行っています。この度、該当建設地について二次募集を行うことになりましたのでご案内いたします。

- 募集期間……平成22年11月15日(月)～平成23年1月31日(月)
- 着工時期……平成23年4月以降
- 対象建設地……福岡市、北九州市、及び久留米市を除く福岡県内(街なか居住推進事業については県内全域)
※詳細条件につきましては福岡県建築都市部住宅計画課ホームページをご覧ください。
- 応募方法……電話で予約の上、福岡県庁7階：住宅計画課 民間住宅係まで必要書類をご持参ください。
※提出書類についてはホームページをご覧ください。
- 問い合わせ先……福岡県建築都市部住宅計画課 民間住宅係 TEL:092-643-3731
【 <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/1501413.html> 】

工事監理指針（平成22年度版）講習会

平成22年度に改定された「工事監理指針(上巻・下巻)」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」の講習会が開催されます。建築士事務所協会会員の方は会員料金にてご参加頂けます。

●開催地……

開催地	開催日	会場	予定人数
福岡市	《建築》平成22年12月9日(木) 《電気》平成22年12月7日(火) 《機械》平成22年12月8日(水)	福岡県自治会館2階 大会議室 (福岡市博多区千代4-1-27)	各200名
鹿児島市	《建築》平成22年12月13日(月) 《電気》平成22年12月15日(水) 《機械》平成22年12月14日(火)	鹿児島県市町村自治会館 4階 会議室 (鹿児島市鴨池新町7-4)	各100名

●参加費……

会員価格	テキスト代込			受講のみ(1日)
	建築	電気設備	機械設備	
	24,000円	18,000円	17,000円	10,000円

●申込締切り……各会場開催1週間前 **※定員になり次第締め切らせていただきます。**

●申込方法……受講申込書に必要事項を明記の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。
※申込書及び詳細は(社)公共建築協会のホームページをご覧ください。
【 <http://www.pbaweb.jp/sisin> 】

●問い合わせ先…(社)公共建築協会 九州地区事務局 TEL : 092-262-6756

「筑後の自然と建築の織りなす景観」

九州産業大学工学部都市基盤デザイン工学科

長 聡子

■ 筑後の景観の概要

筑後には、穀倉地帯が一面に広がる筑後平野、平野を貫く筑後川や矢部川、また耳納連山に代表される山々、雄大な有明海などの自然、地形と、伝統的建造物が保全されている八女福島や白壁土蔵の残る吉井など、昔の街道沿いの宿場町、城下町などの豊かな地域文化に育まれた歴史ある建造物による街並みが存在します。これらが筑後の景観の特徴になっており、地形や自然が下地となり、その上に人々の営み（生産、街並み）の歴史が重なりあって景観をつくりだしています。



写真1 耳納連山を望む景観

■ 筑後の景観の特徴

まず、筑後地域に存在する素晴らしい景観の特徴を、いくつかの視点に沿って整理してみます。素晴らしい景観には、それを成り立たせる背景が隠れています。その背景を知ることで、表面的な見た目だけの景観でなく、その文化的価値や地域性に裏打ちされた「景観」を理解することができます。

(1) 地形

雄大な地形を有する筑後では、景観も広域的視点で捉えていくことが大切になります。図1のように、鳥の目（鳥瞰）で地域全体を見ることで、大平野を囲む山々とその中を貫く大河といった骨格が明快な構成をしていることを端的に解することができます。景観のまとまりを知る上でも重要な見方になります。



図1 筑後地域の鳥瞰図

また、地形の骨格を知ることで、優れた眺望景観を望むことのできる地点を探し出すこともできます。特に、筑後では、耳納連山が地域を取り囲むように佇んでいるため、写真1のような耳納連山を望む眺望景観を一体的に保全することで、地域景観のアイデンティティを確立することができます。

(2) 歴史・文化

景観は、自然に出来上がるものではなく、人々の永年の営みによって作り上げられた結果です。そのため、地域に根差した景観を読み解くためには、そこで生活する人々の生業や生活の歴史・文化を知る必要があります。筑後には、昔の街道や宿場町の痕跡が今でも残っているところが数多くあります。これらの歴史的・文化的文脈を古地図や歴史資料によって紐解くことで、地域固有の景観資源の手掛かりを見つけることができます（図2）。



図2 筑後地域の歴史的遺産の抽出

また、この地域からは多くの芸術家や文化人を輩出しており、筑後を題材とした絵画や詩、俳句などが数多くつくられています。これらの作品の中には、筑後の原風景の美しさが表現されており、象徴的な眺望景観や景観資源を探し出す手掛かりになります。

さらに、地域文化の一端を各地で行われる様々な催事から知ることができます。特に祭りは日常の風景に彩りを与え、ハレの景観へと変化させます。その際、祭り自体も景観要素として重要ですが、その背景となる日常の街並みも祭りを際立たせる重要な役割を担っており、地域独自の景観を守るということは、祭りと合わせてその背景となる街並みも維持することでもあるのです。

(3) 季節・時の変化

日本には、古くから時刻や季節、気象によって変化する景観を楽しむ伝統があります。四季が明確で、その時々で異なる表情を見せる景観を捉える感性は日本人独特の美意識に基づくものです。筑後においても、秋に赤々と色づく櫛や気象の変化によって幻想的な表情を見せる耳納連山の眺望など、限られた時だけ見ることのできる美しい景観があります（写真2）。また、農林漁業の盛んな筑後地域では、その時々に見られる、農作業や漁業の営みの風景も、豊かな田畑や港などを背景とした生き生きとした生業の景観となります。



写真2 朝霧と耳納連山

(4) 街並み

通りに沿って連続的に並ぶ伝統的な建築物群は、地域由来の伝統や文化を今に伝える貴重な財産です。加えて、文化財や伝統的建造物だけでなく、日常的な景観、いつも目にする人々が行き来する境界が見せる街並みの美しさもあります。また、場面、場面の美しさもありますが、連続立面図などによって知ることのできる、連続する建築物が作り出すスカイラインや軒高、装飾物などの統一されたデザインも地域の伝統を色濃く残す景観特性です（図3）。個々のシンボルだけでなく、街並みのように連続する景観に調和を生み出す要素やデザインを読み解くことも大切です。



図3 八女福島の連続立面図

■ 景観の組み立て方

前述の通り、筑後では地域固有の素晴らしい景観を数多く見ることができます。これらを後世に亘って、維持、保全、また改善していくためには、景観の種となる資源を巧みに活かしていく方法を知る必要があります。そこで、ここでは、景観の組み立て方と題して、地域に存在する景観資源を活かしながら1枚の絵画を構成するように景観を組み立てる手法・考え方を紹介します。

(1) 景観資源を探す

絵画のような景観を考えると、まずは景観の種となる資源を探すことから始めます。また資源となる土木構造物や建築物、樹木などが、そこに立地している歴史的背景や意味、場所性について知ること、それらの景観的価値をより深く理解することができます。筑後の場合、地域産業と密接に結びついた田園景観や、江戸時代に‘櫛の国’と呼ばれるほど櫛蠟で栄えた名残を知ることのできる櫛並木や吉井の商家群などが挙げられます。

(2) 視点場を探す

景観を考える方法の一つとして、風景画や風景写真のように、一定の範囲を切り取って、そこに映る要素を巧みに構成し美しく見せる方法があります。即ち、絵画の構図などを参考に、各景観資源の見え方をコントロールすることで、素晴らしい景観を組み立てることができます。

この時に重要になってくるのが、景観を見る地点である‘視点場’です。普段行き来している境界の中にも、素晴らしい景観を見ることができる視点場を見つけることができるでしょう。また、視点場から見える景観を、視点場からの距離関係で近景、中景、遠景と区分して景観資源の構成を考えることで、奥行きのある雄大な景観を演出することもできます（図4）。

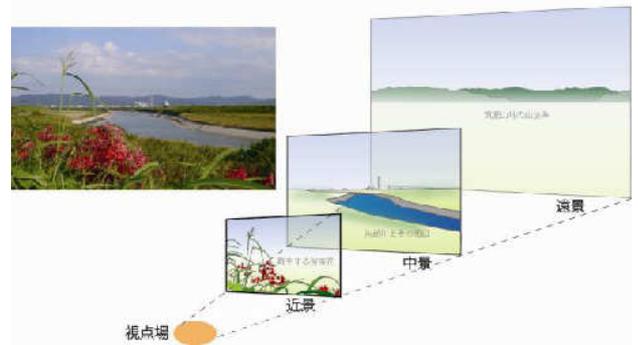


図4 視点場と距離景

(3) 連続景観を探す

普段の生活の中で景観を体験するとき、歩いたり、自動車で移動したりしているときに目に触れるということが一般的です。したがって、景観について考えるときには、景観の連続性についても検討することが大切になります。特に筑後では、柳川のように舟運からの連続景観を体験することもでき、ゆったりとした速度の舟の上から掘割沿いのまちなみを見ると、日常とは異なるまちの風情を感じることができます。このような連続景観では、統一された単調な景観だけでなく、場面ごとにドラマチックに変化する景観のつながりも見人を楽しませてくれます（写真3）。



写真3 柳川の川下りにおける連続景観

(4) 地域の課題を抽出

地域の抱える様々な課題の結果として、目に見える形で景観上に問題が発生してきます。地域の景観を考える上では、事前にこれらの課題について、把握しておく必要があります。筑後の景観は、山や川、平野を骨格として広域的に広がっているため、地域の課題も広域的視点から見る必要があります。行政単位である市町村などを超えた筑後川流域や矢部川流域といった連帯した地域で一体的に課題を抽出することが大切です。また、このような広域的視点とともに、身の回りの地区レベルでの課題の抽出や丹念な情報収集も地域の現状を理解する上では重要な作業になります。地域の人たちとともにフィールドサーベイやワークショップを行うことが大変有効な手段となります。

(5) ルールを考える

(1)～(4)の作業を通して整理した地域の景観の特徴や課題に基づき、景観を維持、保全、また改善するための具体的なルールを考えていきます。たとえば、地域を代表する山々やランドマークへの眺望を建築物によって阻害しないよう、高さ・規模・配置に関するルールを定めたり、周辺の自然や建造物群と馴染む色彩を使用させるようなルールを定めていきます(図5)。景観は地域に存在する多様な要素によって構成されており、そこには多様な主体が関わっているため、良好な景観をつくり出すには、具体的な数値基準などによってコントロールする手法が有効です。



図5 建築物の色彩に関するルール

(6) 地域住民の参加

地域の景観を日々守り、育てていく担い手は地域住民です。単にルールを作るだけでは、景観を育むことはできません。地域の素晴らしさを語り継ぎ、ルールを活用しながら景観を守る取り組みを積み重ねることによって、地域独自の景観の美しさを守り、育てていくことができます。筑後でも景観を守り育てる自主的な活動が徐々に芽生えてきています。今後は、このような活動を多様な主体のパートナーシップによって実践する仕組みを確立していくことが望まれます。

■ 筑後での景観に関する取り組み

筑後地域における景観の取り組みは、平成15年3月の「筑後ネットワーク田園都市圏構想」から始まりました。その翌年より「筑後広域風致景観のルールづくり」が進められ、平成18年には地域の人たちから集められた筑後地域の美しい景観に関する絵画や写真、詩などを基に、筑後の景観を守り育てるための方針を謳った『筑後景観憲章』が制定されました。その後、筑後地域の景観の骨格を形成している河川を中心とした、「矢部川流域景観テーマ協定」(平成19年5月)と「筑後川流域景観テーマ協定」(平成21年5月)が流域市町によって締結され、これらに基づく「矢部川流域景観計画」(平成21年3月)と「筑後川流域景観計画」(平成22年10月)が策定されています(図6)。これらの協定や計画の内容は福岡県のHP等で詳細を知ることができるので参照していただきたいと思いますが、これらの一番の特徴は、各市町個別に作成した計画ではなく、河川流域の連帯する市町が広域連携によって策定している点です。市町などの人為的に引かれた行政界によって分断するのではなく、河川の流域という自然的つながりを尊重した対象範囲設定を行うことで、本質的な景観資源のつながりを活かした目標像やルールの設定が可能になっています。筑後では、上述のように景観を守り育てるための下地が既に構築され、今後は、構築されたルールを地域で運用する仕組みを確立することが求められています。これには地域の多様な関係者の主体的な参画が必要不可欠になります。建築業に関われています皆様におかれましては、景観に直接的に関わる場面が多々おありになると思いますので、景観に対する意識的行動を率先して実践されることを望みます。

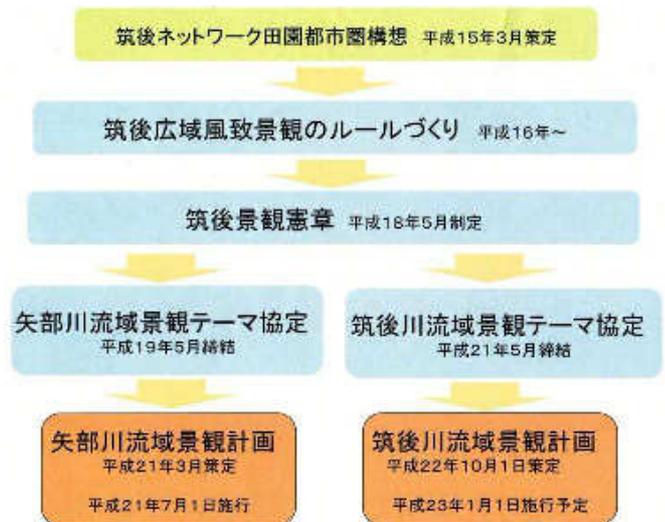


図6 筑後における景観の取り組みの経緯

3

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

恒例の福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。

「ちっごの住まいとまち並みを想う」というテーマのもと、今回のコンペの対象地は筑後川、矢部川流域に設定され、高等学校の部4校より計47点、専門学校生の部(高専1校を含む)5校より計62点のご応募を頂きました。その中より10月6日の審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が10月29日に久留米商工会館大ホールにおいて行われました。



経 過

- 平成22年 4月30日…… 関係校へ課題を通知、応募期限を9月15日とする
 9月15日…… 提出校、高等学校の部4校、専門学校生の部5校(高専1校含む)
 10月6日…… 福岡建設館において、13時30分より審査会を行い各賞決定
 10月29日…… 久留米商工会館大ホールにおいて表彰式開催
 10月25日～10月29日…… 久留米市役所くろみホールにおいて作品展示会開催

審査委員名

- 河野泰治 (社)福岡県建築士事務所協会顧問
- 福岡県建築都市部長
- 福岡県教育委員会教育長
- 北九州市建築都市局長
- 福岡市住宅都市局長
- 久留米市都市建設部長
- 大牟田市都市整備部長
- 財福岡県建築住宅センター理事長
- (社)福岡県建築士会長
- (社)日本建築家協会九州支部長
- (社)福岡県建築士事務所協会

協 賛

(財)福岡県建築住宅センター

後 援

福岡県、福岡県教育委員会、北九州市、福岡市、久留米市、大牟田市、(社)福岡県建築士会、(社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

まずは河野審査委員長にはこの一年課題の検討から選考審査、そして講評を戴く等、多大な力添え賜り厚くお礼申し上げます。

今回の課題は前年に続き「地域」をテーマとしました。各々の要素が多様であり、学生諸君には選択肢が非常に広くその中で自身が設定場所や関連する歴史、文化、産業等今迄以上に知識を広げ、さらに歴史的検証を含め大変な時間を費やし取り組んでくれた成果を充分に感じる作品が多数あり、ご指導頂いた先生方の熱意に改めて感謝申し上げます。

しかし今回は応募数並びに応募学校が例年になく減少してしまいました。課題の要求が難しく最初の取り組む段階から敬遠されたのか、もしくは他に色々な要因があったのではと反省していますが、同時に来年以降に向けて先生方や学生諸君との交流をはじめ新たな可能性をさぐり、未来に託する若い情熱がこのコンペを通じて礎になればと願っています。

最後に公私ともご多忙の中ご協賛の関係諸庁、各団体に対してお礼申し上げます。又このたびはキャンペーン事業と重ねて久留米市、大牟田市の方々、県南支部協会の熱意を肌で感じる事が出来幸せでした。有難うございました。

(社)福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
 委員長 小野 正博

平成22年度課題 筑後川、矢部川流域「ふるさとにたつ工房併用住宅」

計画趣旨

福岡県南部は、筑後川、矢部川といった大河とその支流の地域であり、2つの大河は東側の大分県境の山地から発し、耳納連山の里山と多様な生態系を潤しつつ有明海に河口を開いています。

その大地は、人々の営みの歴史の舞台として、新たな産業を興し、集落や街に個性的な文化を育んできました。ふるさとの恩恵は、現在、伝統産業が息づく歴史・文化的なまちなみや景観に色濃く映し出されています。後世へと継承していくには、更に地域と人との繋がりを持ち、その価値や意味をかけがえのない流域全体の共有財産として、多くの人々が理解し、活用できるように取り組むことが重要であると思われます。

伝統産業・工芸がその地域の独特の文化・歴史を編み出してきましたが、この貴重な資源・産業を礎とした物づくり工房との併用住宅の計画を、今回の高等学校生の課題とします。

筑後川、矢部川流域の河川沿いには、地域の特性と現状を紹介し、風土・文化・景観を住民と共にいつでも知ることができ、地域の活力を生む情報発信の拠点として、また体験学習の場ともなるような郷土資料館や産業館等多数あります。

高等学校生のみなさまには相互に繋がりを持つ、遊歩道沿いに形成する工房併用住宅の一戸を設計して下さい。

この機会に福岡県南部の魅力ある地域を見つけだし、歴史・文化を肌で感じさせる構成(イメージ)と、高校生の自由で夢のある発想を期待します。

計画条件

敷地

- 面積 450㎡ 敷地1～6(別図)の一つの敷地を選択する。
- 用途地域 無指定(ただし容積率200%、建ぺい率60%)
- 前面道路 幅員6m。
- 地盤 平坦で良好
- その他 電気、上下水道、ガス等の附帯設備は完備されている。

建物

- 延床面積 250㎡程度(10%程度の増減を含む)。
- 構造 木造とする。2階建て以下とする。
- 条件 工房部分面積は住宅の1/2以下とする。
住宅部分は祖父母、夫婦、子供2人(小学生)の3世代同居とする。
- 所要室 工房部分:地域に密着した職種とし、職種は自由とする。
住宅部分:和室8帖(床の間、仏間)、祖父母室、夫婦室、子供室、台所、居間、洗面脱衣室、浴室、便所、押入、クローゼット等
- 駐車場 居住者用駐車場を2台分(普通車)を確保する。
工房利用者の駐車場は不要(周囲の別敷地に確保されている)
- 注意事項 遊歩道、イベント広場の有効活用計画も考慮する。

提出図面

- 用紙 協会配布のケント紙(B2サイズ)1枚を使用し、横書きとする。
- 提出内容 設計コンセプト:ふるさと工房にふさわしい名称をつける。
配置図(1/300):遊歩道の計画(植樹、水路、ベンチ等自由)も含む
平面図(1/100)
立面図2面以上(1/100~1/200)
断面図(1/100~1/200)
外観パース:イベント広場、遊歩道部も含む
- 条件 必ず手書きとする。CGは不可、模型写真の添付は自由。着色は自由。
図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法および寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	32点
浮羽工業高等学校	〃	8点
戸畑工業高等学校	〃	3点
福岡工業高等学校	〃	4点

計 4校 47点

個人賞

●知事賞	福岡工業高等学校	3年	松尾正樹
●福岡県教育委員会賞	福岡工業高等学校	3年	志垣侖奈
●久留米市長賞	福岡工業高等学校	3年	中村武愛
●大牟田市長賞	有明工業高等専門学校	3年	矢上雄介
●(財)福岡県建築住宅センター理事長賞	戸畑工業高等学校	3年	菅原宏樹
●会長賞	福岡工業高等学校	2年	岩元寿樹
●(社)福岡県建築士会会長賞	有明工業高等専門学校	3年	富重麻郁
●(社)日本建築家協会九州支部支部長賞	浮羽工業高等学校	3年	牧野春菜
●金賞	有明工業高等専門学校	3年	龍知可
●銀賞	戸畑工業高等学校	3年	井川拓弥
〃	有明工業高等専門学校	3年	角田雅季
●銅賞	浮羽工業高等学校	3年	塚本耕平
〃	有明工業高等専門学校	3年	太田明宏
〃	有明工業高等専門学校	3年	堤恵梨
●佳作	戸畑工業高等学校	3年	平田純也
〃	浮羽工業高等学校	3年	平徳永義孝
〃	有明工業高等専門学校	3年	江口舞之
〃	有明工業高等専門学校	3年	江園田朋勝
〃	有明工業高等専門学校	3年	中原勝平
〃	有明工業高等専門学校	3年	西坂紗耶
〃	有明工業高等専門学校	3年	松尾橘花



平成22年度課題 筑後川、矢部川流域「ふるさと館」

計画趣旨

福岡県南部は、筑後川、矢部川といった大河とその支流の地域であり、2つの大河は東側の大分県境の山地から発し、耳納連山の里山と多様な生態系を潤しつつ有明海に河口を開いています。

その大地は、人々の営みの歴史の舞台として、新たな産業を興し、集落や街に個性的な文化を育み、現在、伝統産業が息づく歴史・文化的なまちなみや景観に色濃く映し出されています。

ふるさととはもはや「遠きに有りて思うもの」でもなければ、ただ「有り難き哉」と思うだけのものでもありません。いまや大河に抱かれてきた景観をふるさとの恩恵として守り育て、後世へと継承していくべきです。更に地域と人々が繋がりをもち、その価値観や意味をかけがえのないものにし流域全体の共有財産として、多くの人々が理解し活用できるように取り組むことが重要であると思われまます。

筑後川、矢部川流域の河川沿いに、地域の特性と現状を紹介し、風土・文化・景観を住民と共にいつでも知ることができ、かつ楽しめる公共の場となり、住民の景観意識の醸成のみならず地域に活力を生み、新しい交流や情報発信の拠点として、また体験学習の場ともなる「ふるさと館」及びまちなみ街道計画が今回の課題です。

この県南の地域において、あなた自身で具体的に場所を選び実際に現場を見て、歴史・文化を肌で感じさせる構成(イメージ)と、専門学校生の自由で夢のある発想を期待します。

施設計画のコンセプト

- ・歴史、文化、なりわい、いとなみを伝える常設の展示場
- ・インターネット等による情報発信の拠点
- ・ふるさと館のテーマを通じた地域の交流の場、また体験的学習の場
- ・河川敷(公園)や遊歩道などを取り込んだまちなみや街道へのアプローチ(配置図に公開空地を設ける等自由に発想する。)

施設名

- ・ふるさと館(各自作品に相応しい名称を付けて下さい)

計画条件

敷地

- 面積 3,000㎡
- 用途地域 無指定(ただし容積率200%、建ぺい率60%)
- 前面道路 幅員12m(歩道を含む)
- 所在地 各自が現地調査したまちなみを一画とする。
- 形状、条件 自由、上下水道は完備されているものとする。

建物

- 延床面積 1,500㎡(±10%)
- 構造 自由とする
- 階数 3階建て以下とする
- 所要室 常設展示場(120㎡~150㎡)、多目的ギャラリー(60㎡)
(参考諸室) ロビー、喫茶コーナー、受付、事務室、企画室兼研修室、図書室、情報室、倉庫(収蔵室)、作業室、便所、機械室等。
- 駐車場 来館者は隣接する公営駐車場を利用する。但し身体障害者用(3台分)関係者および搬入車用(5台分)の動線を考慮して設置すること
- 注意事項 建物とまちなみや街道を相互に繋ぐ構成とし、公開空地等を取り入れた提案とする。

提出図面

- 延床面積 1,500㎡(±10%)
- 構造 自由とする
- 階数 3階建て以下とする
- 所要室 常設展示場(120㎡~150㎡)、多目的ギャラリー(60㎡)
(参考諸室) ロビー、喫茶コーナー、受付、事務室、企画室兼研修室、図書室、情報室、倉庫(収蔵室)、作業室、便所、機械室等。
- 駐車場 来館者は隣接する公営駐車場を利用する。但し身体障害者用(3台分)関係者および搬入車用(5台分)の動線を考慮して設置すること
- 注意事項 建物とまちなみや街道を相互に繋ぐ構成とし、公開空地等を取り入れた提案とする。

応募校と応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	25点
有明工業高等専門学校(4年~5年)	"	3点
九州職業能力開発大学校	"	8点
福岡建設専門学校	"	23点
福岡デザイン専門学校	"	3点

計 5校 62点

個人賞

●知事賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	須賀 彩洋子
●福岡県教育委員会賞	福岡建設専門学校	2年	古賀 政男
●久留米市長賞	九州職業能力開発大学校	2年	松本 俊信
●大牟田市長賞	九州職業能力開発大学校	2年	今塩屋 翔太
●(財)福岡県建築住宅センター理事長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	福手 真木子
●会長賞	福岡デザイン専門学校	1年	小嶋 健志郎
●(社)福岡県建築士会会長賞	九州職業能力開発大学校	2年	野原 祐樹
●(社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡デザイン専門学校	2年	井 卓也
●金賞	九州職業能力開発大学校	1年	宮 永大翼
●銀賞	福岡建設専門学校	1年	小西 敦子
"	麻生建築&デザイン専門学校	1年	弘中 佳代子
●銅賞	有明工業高等専門学校	5年	宮地 伸伍
"	九州職業能力開発大学校	2年	堀 友里絵
"	麻生建築&デザイン専門学校	1年	星 田 歩
●佳作	福岡建設専門学校	2年	林 田 梓
"	福岡建設専門学校	2年	室 美香
"	福岡建設専門学校	1年	柏 美和子
"	麻生建築&デザイン専門学校	2年	廣 畑 慎太郎
"	麻生建築&デザイン専門学校	1年	兼 行 祥太雄
"	麻生建築&デザイン専門学校	1年	鴨 川 昭和
"	麻生建築&デザイン専門学校	1年	轟 和子



審査概評

審査委員長 河野泰治
(社)福岡県建築士事務所協会 顧問

高等学校の部 課題：筑後川、矢部川流域「ふるさとにたつ工房併用住宅」

専門学校の部 課題：筑後川、矢部川流域「ふるさと館」

「私たちはあなたの夢を創造するパートナーです」という今年度の日本建築士事務所協会連合会の統一テーマのもと、「ちっごの住まいとまち並みを想う」としたサブテーマに沿って、福岡県建築士事務所協会主催のキャンペーンが筑後の地で開催される。

このコンペの対象地も筑後川、矢部川流域に設定された。二つの大河と緑豊かな山並、里山と田園、町並みは互いに絡み合って、極めて多様で特色のある産業や景観をつくりはぐくんできた。こうした地において、流域全体の有形無形の資源・財を共有し、これらを通して、地域と人とのつながりをより深めるための仕掛け・仕組み・空間を新たに提案して欲しいというのが、共通の課題である。

高校生にとって、みずから魅力ある地域を見つけ出すことと、どのような仕掛けをどう空間化するのかというのは、決してやさしくはない課題であったろうと思われる。専門学校生にとっては、対象敷地の選定と土地・地域の理解・解釈・情報収集と提案要素の抽出・組み立てには、かなりのエネルギーが求められる。それ以上にコンペに向き合う意気込みが問われそう。

応募は高校47点、専門学校62点。一時審査で設計・製図の基本と応募要件をチェックし、各33点、36点が二次審査対象として選出された。二次審査は審査員の推薦数の多い上位作品について、協議によって受賞作品を決定した。

例年のことながら、「設計」はしっかりしているのだが、「製図」の基本がおろそかな作品も散見された。平面図も断面図も共に「平断面図」「縦断面図」であること。つまり建物を水平にあるいは垂直に長い刃で切断して、上から見たのが「平面図」、横から眺めたのが「断面図」ということになる。従って、例えば2階平面図には、平屋部分の屋根が描かれることになる。

高等学校の部 総評

想定したふるさと館への遊歩道の途中、膨らんだイベント広場を囲んだ6種の敷地を選択対象地とした。そこに伝統産業・工芸のものづくり工房併用住宅の計画提案を求めた。

川・水・土の天然素材をベースにした、陶器や織物・緋、木工など色々な伝統工芸の伝承の場とする案や素材や伝統工芸をモチーフに新たなものづくりにチャレンジしようとする提案など、高校生それぞれの感性の多彩さ豊かさが目立った。今年最優秀に選ばれた2人は、昨年度も同様に受賞しているが、この1年間のデザイン力やプレゼンテーション力の成長には眼を見張るものがある。

専門学校の部 総評

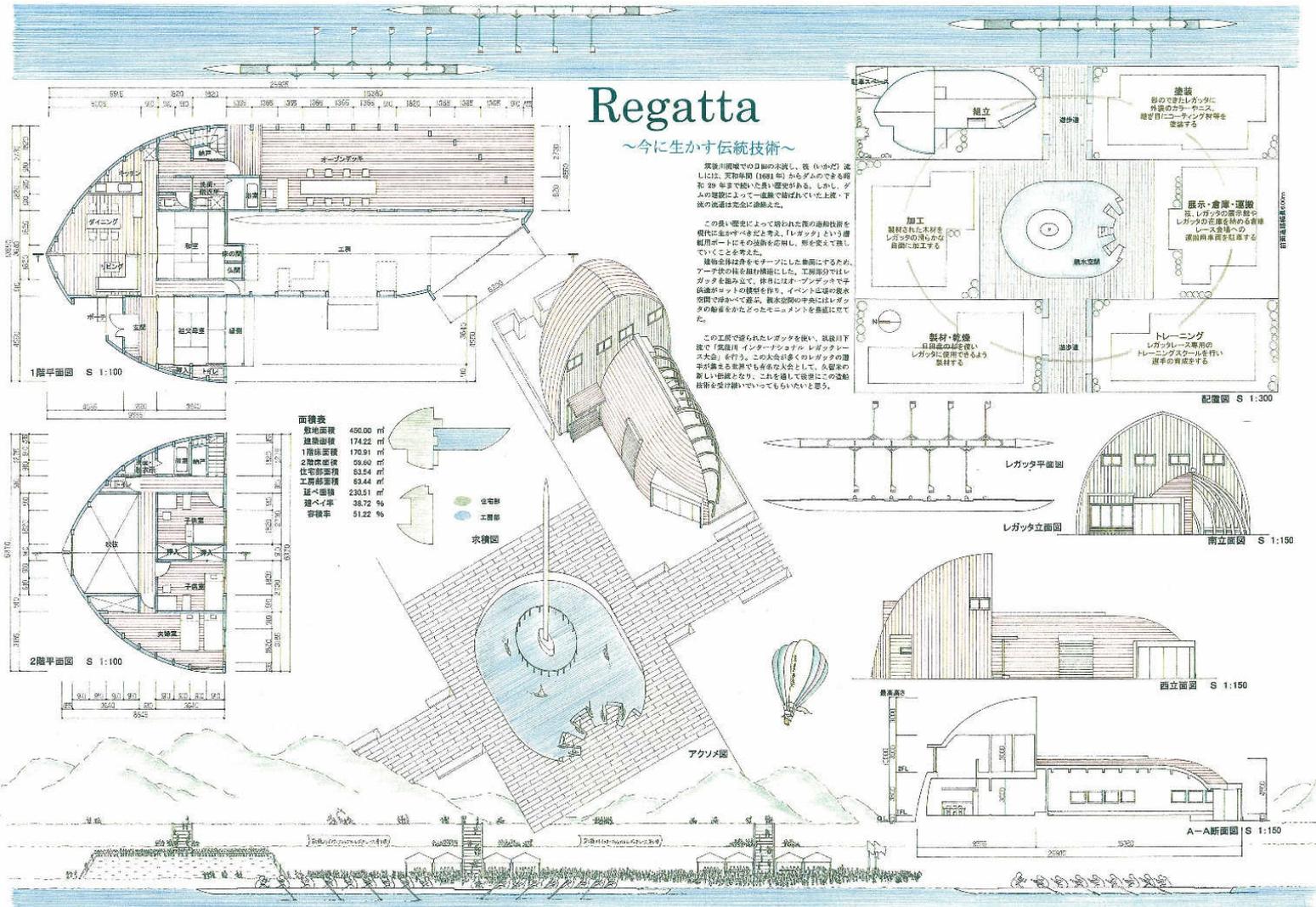
「ふるさと館」としての機能やデザインを超えて、「そこにあること」の意味や心地よさが伝わってくる多くの作品が提案された。選定された敷地とその環境、近景・遠景はいずれも大変素晴らしい。「ふるさと館」はその環境の一部となって、新たな環境を形づくりに繋がっている。それは、若々しい感性によるこれまで見過ごされてきた土地の発見と再評価によるものであろう。

受賞作品紹介

— 高等学校の部 —

知事賞

《福岡工業高等学校 3年》 松尾 正樹



講評

「Regatta—今に生かす伝統技術」は、筏流しによる日田杉の伝統的な加工技術を漕艇用ボート製作に蘇らす工房村の計画である。その中の一つ組み立て工房の家を対象に、ボートをモチーフにしたアーチを描く木の骨組みと局面屋根の構成は、提案のねらいを直截に伝達している。図面の上と下に描かれたレガッタレースの平面と立面図などの丁寧な美しい図面とあまって、心地よい作品に仕上がった秀作である。



受賞者コメント

今回、県知事賞という名誉ある賞を頂きありがとうございます。このコンペに挑戦できる最後の機会でこの賞を取れた事を嬉しく思っています。私がこの様な賞を取ることができたのは先生方の熱心なご指導があったからです。コンペには、二年生から二度挑戦し、制作はとても大変でしたが、良い勉強になりました。この経験を将来に生かしていきたいと思っています。

福岡工業高等学校 建築科3年 松尾正樹

4

九州公共建築フォーラム2010のご報告

よりよい公共建築づくりを目的として、九州地方の建築技術者が会して情報交換を行う『九州公共建築フォーラム』が11月16日（火）に福岡市東区の福岡教育会館で開催されました。フォーラムには約180人（民間設計者、整備局職員、自治体職員ほか）が参加し、「木の香る公共建築～木の特性と可能性を探る～」をテーマに、講演とパネルディスカッションが行われました。



大きな会場で開催し、公共建築フォーラム過去最高の参加者を迎え、大盛況の会場

パネルディスカッションで、いっそうの理解深まる。



【 木の香る公共建築 ～木の特性と可能性を探る～ 】 講演内容

講演

- 講演 1. 公共建築物等への木材利用の意義 ～環境保全と資源持続性の視点から～
宮崎県木材利用技術センター 有馬 孝禮 氏
- 講演 2. 森林資源活用の2つの構法 ～スケルトンログ／スケルトンドミノ～
東京芸術大学美術学部建築科教授 黒川 哲郎 氏
- 講演 3. 建築利用における木材の活かし方 ～木挽棟梁のモノサシ～
(有) 杉岡製材所 専務取締役 杉岡 世邦 氏

パネルディスカッション

- コーディネーター …… すまい塾古川設計室(有) 代表取締役 古川 保 氏
- パネリスト …… 有馬 孝禮 氏、黒川 哲郎 氏、杉岡 世邦 氏
九州地方整備局 川元 営繕部長

主催者：公共建築協会、福岡県建築士会、福岡市建築士事務所協会、日本建築家協会九州支部

●講演 1：公共建築物等へ木材利用の意義（有馬孝禮氏）

- 木材は炭素を固定・貯蔵するので、木造建築は「都会の森林」といえる。
- 京都議定書の削減目標6%のうち、3.8%は森林吸収を想定している。吸収源として認められるには適切な整備・保全が行われていることが必要。
- 日本の育成林の蓄積量は年々増大し、老齢化が進んでいる。持続可能な森林育成を行うには、今は木を使うことが重要。

●講演 2：森林資源活用の2つの構法（黒川哲郎氏）

- 公共建築で地域材を用いた木造建築を作るにはコストが最大の問題となる。
- このため、集成材ではなく、自然乾燥で丸太のまま使う方法を用いるようになった。
※黒川氏は、うきはアリーナ、日田高校体育館等、35 の木造公共建築の設計を手がけている。

●講演 3：建築利用における木材の活かし方（杉岡世邦氏）

- 品種、植林間隔、土地の栄養により、同じ九州のスギでも性質は多種多様である。
- 桁目／板目、心材／辺材、自然乾燥／人工乾燥による性質の違いパネルディスカッション
- 標準仕様書等の規定について
 - ・含水率やヤング率の基準値などを、その趣旨や必要性を吟味せず「仕様書による」としてしまいう設計者が多い。
 - ・木材の使用部位やその地域の木材の特徴などを理解した上で、なるべく設計者自らが決めるべきである。
 - ・工業製品であれば、一律の基準を定めて製品のカタログ化をすることが効率的であるが、工業製品でない木材は、性能のバラツキが大きいので、安易なカタログ化は避けるべきである。
- 木材に限らず、材料には長所と短所があり、長所を活かすために短所をどう補うかが技術力である。
- 木造建築は生き物を相手にする仕事なので、手間をかけただけ良い成果が出る。やりがいのある仕事である。

県南支部からのお知らせ

賛助会員との懇親会のお知らせ

このたび県南支部で、賛助会員との懇親会を行います。

- 会場……ハトヤ別館
- 日時……平成22年1月24日 17:30より



研修旅行・ガーデニングワールドカップ2010のご報告

県南支部では11月6-7日・西九州の研修旅行に行ってきました。

ガーデニングワールドカップ2010をご紹介します。場所はハウステンボス園内、世界のガーデナーが競うコンテストです。日本代表として石原和幸氏が出展。草木、オブジェ、水、自然石、木材等を使って、自然の景観を背景にいろいろなガーデニングのデザインが展示されていました。今後、夢のあるガーデニングを創作したいものです。

次にガーデニングと住宅型有料老人ホームが一体となった建物を見学しました。施設は佐世保市内の山手に建っています。老人ホームと聞くだけで何かを連想されると思いますが、これまでの感覚とは少し違います。老人ホームに園芸療法を取り入れた手法です。建物も長崎風（グラバー園）をモデルにしているようです。高級リゾート感覚で光と植栽がやさしく明るい内部になっています。入居の方々は安心して老後が過ごせそうです。今後急速に高齢化住宅が誕生してくると思います。建物もただの箱物ではなく高齢者に優しい住まいの環境が必要と考えます。いよいよ建築家、私たちの出番です。ガーデニング（里山）の手法もおもしろいでしょう。

さて、県南では今回の研修ツアーが9回目となりました。これまで各地を訪問して地域の住環境や文化施設を見学。知識が豊かになり自分たちの地域への住環境創りにも貢献できていると信じています。最初の頃は、美術館や箱物の見学が多かったのですが、最近、県南支部では身近な「地域」「人」「暮らし」「文化」にテーマを当てて研修ツアーをしています。1回目から参加をされていて思うのは九州には各地の文化や住環境を見学するところがたくさんあります。研修旅行は親睦だけでなく、知識の向上に最も効果があります。来年の研修ツアーも皆さん楽しみに期待されているようです。今回の県南支部便りは研修ツアーについてまとめてみました。



塀を植栽にしたオブジェ(ガーデニングワールドカップ2010)



里山に立つ有料老人ホーム

筑豊支部からのお知らせ

12月13日(月) 幹事会を行います

筑豊支部幹事会を行います。

- 日程：12月13日(月)
- 議題：理事会報告、研修会開催、その他について

北九州支部からのお知らせ

11月度報告

- 11月11日～13日

第30回トータルリビングショー

北九州建築6団体として建築相談コーナーを実施。
近隣のマンション建設による相談等が寄せられた。

- 11月19日(金)

長尾良次氏「建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰」受賞祝賀会を開催

小倉リーセントホテルにて17時より開催。
多くの会員の方の御出席をいただき和やかな心温まる祝賀会となった。

12月度・新年度1月予定

- 12月17日(金)

北九州支部幹事会

戸畑生涯学習センターにて 午後6時より開催

- 平成23年1月7日(金)

平成23年度北九州建築6団体新年賀詞交歓会開催

ホテルクラウンパレス小倉にて 午後6時より開会

福岡支部からのお知らせ

福岡支部賛助会主催 バスツアーのご報告



11月10日(水)、今年も恒例の事務所協会、建築士会共催の賛助会主催研修バスツアーが開催されました。正会員、賛助会員、総勢67名という多数皆さまにご参加いただき、秋晴れの好天の中「北九州エコタウン地区」を見学致しました。北九州エコタウンは、「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原材料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること(ゼロ・エミッション)」を目指し、資源循環型社会の構築を図る事を目的とした事業です。

(株)ジェイ・リライツでは蛍光管リサイクルについて、(株)ジェイ・パワーでは太陽光発電事業及び屋上緑化についてそれぞれ勉強させていただきました。

見学会終了後には、「魚庵 千畳敷」にて懇親会が開かれました。岩崎幹事と三輪幹事によるプロ顔負けの歌&ダンスショーを皮切りに、賛助会の方によるじゃんけん大会、くじ引き等の催し物が行われ、最後には炭坑節の総踊りで幕を閉るという大変楽しい懇親会となり、



正会員と賛助会員のよき交流親睦の場にもなりました。おかげ様で、今回ご参加頂きました皆様からはご好評頂きました。来年度は今年以上の企画を会員の皆様と楽しめるよう考えております。



会員委員長 和田正樹(記:事務局 新竹)

福岡支部 忘年会のご案内

福岡支部では毎年恒例の忘年会を下記の通り開催致します。楽しい夕べのひとつときを、会員の皆さんと共に過ごしませんか。皆様多数のご参加を心よりお待ちしております。

- 日 時……………平成22年12月3日(金) 18:30~
- 場 所……………「福新楼」福岡市中央区天神2-3-33
- 参 加 者……………福岡支部正会員、賛助会員 ※申込み受付はすでに終了しております。



福岡建築倶楽部新年の集い

早いもので、上記7団体で共催する年頭恒例の合同新年会のご案内をする時期になりました。来年も建築倶楽部合同の新年の集いを下記のように計画しています。例年通り、堅いあいさつは少しにして和やかに、美味しい料理とお酒で新年会を盛り上げましょう。みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひ多数のご参会の程を幹事一同お待ちしております。

- 日 時……………平成23年1月21日(金) 18:30~
- 場 所……………「KKRホテル博多」2F 福岡市中央区薬院4-21-1
- 会 費……………6,000円/1人あたり ※詳細は事務局までお問い合わせください。



『RC造集合住宅の外壁・間仕切をトータルで提案』
『石膏による耐火遮音システムの変遷～新工法の紹介』講習会を行います（予告）

CPD認定単位：3単位

主催： 社団法人 福岡県建築士会福岡支部 賛助会
社団法人 福岡県建築士事務所協会福岡支部 賛助会

第7回福岡支部賛助会主催の講習会を開催します。

今回は『壁』について2題お話させていただきます。一つはALC壁と高性能遮音乾式間仕切壁の組合せによるコスト・工期縮減の提案。二つ目は石膏による耐火・遮音間仕切壁の変遷、新工法のお話です。会員の皆様へは、年明けに申込書と合わせてご案内申し上げます。

- 日 時** 平成23年2月2日（水） 13:30 ～ 16:30
- 会 場** 福岡建設会館 7階 701号会議室（福岡市博多区博多駅東3丁目14-18）
- 受 講 料** ● 会 員……無料（建築士会福岡支部会員・事務所協会福岡支部会員）
● 非会員……1,000円
- 定 員** 60名程度（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 講 習 内 容** ①「RC造集合住宅の外壁・間仕切をトータルで提案」

- ・外壁ALCについて
高い耐風圧性能と優れた耐震性能を確認した試験風景をビデオ観賞し、RCマンション向けに開発されたALCを紹介し、集合住宅にALCパネルを採用する利点などを説明。
- ・耐火遮音スタットレス間仕切りパネルについて
建物内の騒音において、空気中を伝わる空気電搬音とスラブなどの固体から伝わる固体伝搬音を完全にシャットアウトする仕様などを紹介し、戸境壁を乾式間仕切りにすることでのメリットや施工方法による遮音性能確保を説明。

②「石膏による耐火遮音システムの変遷～新工法の紹介」

- ・よもやま話～石膏建材の移り変わり
- ・耐火・遮音構造の変遷

- 講 演 企 業** ● 吉野石膏株式会社
● クリオン株式会社

太平洋セメントのALC・エコマテリアル クリオン株式会社 福岡支店

ALCパネルを使用される建物の設計や確認申請の際はご連絡下さい。
「外壁の風圧力計算」「開口補強メンバーの算出」などのご協力をさせていただきます。
その他、ご相談等もお待ちしています。

- <http://www.clion.co.jp/>
- 〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉4-3-2 博多エイトビル 8F
- Tel: 092-441-4282 Fax: 092-481-2371



株式会社 INAX サンウエーブマーケティング

「集合住宅&パブリック向け内覧会」開催のご案内

この度、集合住宅&パブリック向け内覧会を開催することになりました。INAXとサンウエーブが提案する「上質な空間」「最新設備」「最新設備・機器」及び、この秋発売の新商品を展示しております。この機会にぜひ会場にお越しください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

会場 アクロス福岡(福岡市中央区天神1-1-1)

開催日時
●平成22年12月21日(火) 10:00~17:00
●平成22年12月22日(水) 10:00~16:00



「特別セミナー」開催のご案内

内覧会の開催に合わせて、特別セミナーを開催致します。

会場 アクロス福岡2F セミナー室1

開催日 平成22年12月21日(火)・22日(水)【定員：35名(先着順。定員になり次第締め切らせて頂きます)】

時間 午前と午後でセミナーの内容が変わります。 ※15分前より受付を開始させていただきます。

●午前の部/10:30~12:00

テーマ《スペースコンセプト2010 autumn ~可変・不可変~》

内覧会のコンセプトゾーンでご提案しているスペースコンセプトを分かりやすくご紹介いたします。今回のテーマは「可変・不可変」。マンションの永住意識の高まり、よいものを長く使い続けたいという消費スタイルが増えてきた中で、マンションに求められる空間要素は何か…。ユーザーニーズの分析から新しいスペースコンセプトをご提案します。

■講師：石原 雄太(株)INAXサンウエーブマーケティング 営業管理本部営業情報統括部 提案業務部
プレゼンサービスセンター スペースプランニンググループ)

●午後の部/14:00~15:30

テーマ《ミラノサローネ 2010 トレンド報告》

毎回ご好評いただいております、『ミラノサローネ2010トレンド報告』をお届けします。この社会情勢の中でミラノからどのようなトレンドが発信されたか、また今回はキッチン・水まわりの展示会が併設されるため、2004年からの経年変化を踏まえながら、水まわりの最新トレンドに重点を置いてご報告致します。

■講師：宮脇 伸歩(株)INAX キッチン・洗面事業部 商品開発部 商品企画課長)

お申込み方法

内覧会ご参加・セミナーご聴講を希望される方には、お申込み用紙をご送付いたします。株式会社 INAX サンウエーブマーケティング担当者までお電話にてご連絡ください。

《お問い合わせ先》 **092-471-1747**

福岡支部賛助会 忘年会のご案内

福岡支部賛助会会員の交流の場として下記の日程で忘年会を計画致しました。お忙しいこととは存じますが多数ご出席下さいますよう宜しくお願い致します。

- 日 時……………平成22年12月15日(水) 18:30~
- 場 所……………「大阪屋」 福岡市博多区中洲5-3-16
- 参 加 者……………福岡支部賛助会員 ※申込書が必要な方は事務局までご連絡下さい。



その1 ～ 福岡市城南区 鳥飼・草香江編 ～

11月よりネット版「建築福岡マンスリー」の配信がはじまりました。ご尽力いただいた会員の皆さまに心より感謝いたします。せっかくですから、会長の私といたしまして、毎月駄文を投稿しようと考え、このコラムをいただきました。つきましては、私が最近歩いた街や美味しかった食べ物を皆さまにご報告しようと思います。

第1回目は、私の事務所がある福岡市城南区の鳥飼・草香江界隈をご紹介します。このエリアは今でこそ海岸線から離れていますが、草ヶ江という名の通り、昔は海の中にあった場所です。1955年から九州大学の教養部を中心に、古書の街と閑静な住宅街が広がっていましたが、同キャンパスの糸島への移転が終わった今、新しい街づくりが今後の課題となっている地区です。

さて、このエリアの美味しいお店。まずはカジュアルフレンチの「火の車」(福岡市中央区草香江1-2-17/092-771-3926)。有働シェフの本音トークで和気藹々のお店です。次にご紹介したいのは、懐石料理の「いな葉」(福岡市城南区鳥飼5-15-21/092-851-7939)。ここは民家を改造したちょっとオシャレな和食屋さん。昼のランチタイムは予約が難しい人気店。もう一軒はイタリアンの「マカロニ」(福岡市城南区別府3-2-34/092-851-9716)。

小さな店ですが、ランチタイムはいつも満員です。他にもいろいろありますが、まずはお試しください。

(会長：八島 英孝)



火の車の店内



いな葉の外観



マカロニのパスタ

事務局 年末年始のお休みについて

2010年も残すところあとわずかとなりました。

本年も建築士事務所協会に格別のご高配を賜りましてありがとうございました。

さて、年末年始の事務局の休業期間を下記の通りご案内申し上げます。

甚だ勝手ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

年末年始休業期間………12月29日(水)～1月4日(火) ※建築登録センターも休業させていただきます。

時節柄、皆さまご多忙のことと存じます。くれぐれもお身体にはご自愛くださいませ。来年も建築士事務所協会に相変わらぬお引き立てを頂きますようお願い申し上げます。歳末のご挨拶とさせていただきます。